

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地			
盛岡医療福祉スポーツ専門学校		平成8年9月25日	龍澤 尚孝	〒 020-0025 (住所) 岩手県盛岡市大沢川原三丁目5番地18号 (電話) 019-624-8600			
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地			
学校法人龍澤学園		昭和38年3月14日	龍澤 尚孝	〒 020-0025 (住所) 岩手県盛岡市大沢川原三丁目4番地1号 (電話) 019-622-6357			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度		
商業実務	商業実務専門課程	医療事務学科	平成 9(1997)年度	-	令和 3(2021)年度		
学科の目的	医療技術、医療機器の進展や高齢者医療等により、ますます高度化、複雑化してきている医療現場にあって、受付、会計、レセプト請求事務等を担う医療事務(職)の果たす役割も更に重要性を増している。先端医療の中核的な総合病院をはじめ、診療所やクリニック、調剤薬局等が、それぞれに連携をし、地域医療に積極的に貢献している状況を踏まえ、本学科は、主に、医科・歯科・調剤・登録販売者・介護保険の各専門分野毎に履修を重ねることにより、多方面に対応しうる人材を育成する為に設置するものである。						
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	医療事務コース、医療事務・登録販売者コースともに希望に合わせた資格取得をサポート。2年生からのコース選択制としている。取得できる資格「医科医療事務管理士・調剤事務管理士・ワープロ検定・エクセル検定・POP検定」、選択による資格「介護事務管理士・医師事務作業補助者・歯科医療事務管理士・登録販売者・診療報酬請求事務」 中退率:3.7%						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	1,885 単位時間	1,355 単位時間	300 単位時間	420 単位時間	- 単位時間
			単位	単位	単位	単位	単位
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)				
80人	54人	0人	0%				
就職等の状況	■卒業生数(C)		31	人			
	■就職希望者数(D)		30	人			
	■就職者数(E)		30	人			
	■地元就職者数(F)		23	人			
	■就職率(E/D)		100	%			
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		77	%			
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		100	%			
	■進学者数		0	人			
	■その他						
	(令和 5年度卒業者に関する令和6年5月1日時点の情報)						
■主な就職先、業界等 (令和5年度卒業生) 病院、医院、歯科医院、調剤薬局、介護施設、ドラッグストア、一般企業							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載		無				
	評価団体:	受審年月:	評価結果を掲載したホームページURL				
当該学科のホームページURL	https://morii.ac.jp/course_medical/						
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A:単位時間による算定)						
	総授業時数						1,885 単位時間
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数						120 単位時間
	うち企業等と連携した演習の授業時数						- 単位時間
	うち必修授業時数						120 単位時間
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数						- 単位時間
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数						- 単位時間
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)						- 単位時間
	(B:単位数による算定)						
	総授業時数						- 単位
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数						- 単位
	うち企業等と連携した演習の授業時数						- 単位
	うち必修授業時数						- 単位
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数						- 単位
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数						- 単位
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)						- 単位
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)						0人
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)						0人
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)						0人
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)						0人
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)						2人
	計						2人
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数						2人

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

医療業界の現状や今後の動向、また、実務において新たに必要となる知識、技術、技能等について、関係施設等が職業教育機関に対して求める要望等をうかがい、その内容を十分に活かしつつ、実践的かつ専門的な職業教育を行うための教育課程の編成を行う。また、教育課程編成委員会の委員の所属先以外の施設等であっても、学生の施設実習等で連携

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程の編成においては教育課程編成委員会からの意見・アドバイスを十分に活かしつつ、本校教員が主体となって実践的かつ専門的な職業教育を行なうものである。また理事会の承認を得て次年度のカリキュラムを決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
宮手 義和	一般社団法人岩手県薬剤師会	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	①
中館 勝寿	株式会社システムエイド	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
佐々木 純子	MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—
竹内 愛美	MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—
山田 健太郎	MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—
伊藤 優汰	MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—
竹花 美奈子	MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—
滝沢 淳子	MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(8月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年8月22日 14:00～14:50

第2回 令和6年3月1日 14:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

1回目の教育課程編成委員会においてご指摘・アドバイスいただいた点について、授業内容・方法の改善・工夫すべきことを教務責任者ならびに学科教員で検討を進めている。2回目の教育課程編成委員会で、その内容について専門委員の方に再度ご意見をいただき、次年度の授業内容・方法の改善・工夫等に活用することを組織として決定する予定。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実習の目的に沿った業務を行っている薬局、医院等において、医療事務業務および歯科助手業務の内容について適切に指導できる実習指導者がいる施設を選定している。なお、それら実習施設と組織的に連携することで、主に下記の諸点について理解させることを基本方針としている。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

本校と実習契約を交わしている施設に、目標に合わせた実習内容を依頼。実習期間中には担当教員が各施設を1回～複数回訪問し、実習指導者と実習内容の確認や情報交換及び、学生への実習状況の確認や指導を直接行う。

実習修了時には、実習指導者による学生の学修成果の4段階評価を踏まえ、担当教員及び本学科が成績評価・単位認定を5段階にて行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
地域福祉	社会福祉の理念を理解し、福祉サービス(地域福祉分野を中心に)の内容や支援方法について、テキスト及び視覚教材を用い、講義及び福祉サービス現場を見学することで具体的に学ぶ。	ドリームキャット
医療機関実習	医科・歯科・調剤薬局での120時間の実習を通し基礎的な知識・技術に应用力・実践力を身につける。また、患者様の対応の心得を学ぶ。	そうごう薬局高田店、株式会社ワークインつくし薬局、医療法人社団緑翠堂森眼科クリニック 等20医療機関

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

本校・本学科の教員として必要な知識、技術、技能や授業および学生への指導力について計画的に教育し、向上させることを目的に、校内・校外において実施される研修等への参加機会を積極的に設けることを「盛岡医療福祉専門学校 研修等規程」により定め、組織的に取り組んでいく。

ここでいう研修等には、施設等から講師を招いて学内で行う研修や学外で企業等が主催して行われる研修等への参加だけでなく、自己啓発活動への援助も含む。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名： 令和6年度診療報酬改定の行方	連携企業等： 株式会社東北エム・ビー平金
期間： 令和5年11月12日(日)	対象： 医療系企業等
内容： 点数改定により医療を取り巻く環境の変化について	

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	連携企業等：
期間：	対象：
内容	

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名： 調剤報酬改定セミナー	連携企業等： 株式会社東北エム・ビー平金
期間： 令和6年5月19日(日)	対象： 医療系企業等
内容： 令和6年度調剤報酬改定について	

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	連携企業等：
期間：	対象：
内容	

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者として関係施設等から参画いただいた委員を含む学校関係者評価委員会を設置して、実務に関する知見を活かして教育目標や教育環境等について評価を実施し、評価結果を教育活動その他の学校運営の改善に活かしていく。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1. 建学の精神・教育理念、教育目的・目標
(2) 学校運営	7. 管理運営(各項)、8. 管理運営(法人)
(3) 教育活動	2. 教育の内容
(4) 学修成果	4. 教育目標の達成度と教育効果
(5) 学生支援	5. 学生支援
(6) 教育環境	3. 教育の実施体制
(7) 学生の受入れ募集	5. 学生支援
(8) 財務	8. 管理運営(法人)
(9) 法令等の遵守	8. 管理運営(法人)、9. 改革・改善
(10) 社会貢献・地域貢献	6. 社会的活動
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

委員会での指摘を基に、内部委員会を数回開催し、次年度事業計画、および教育カリキュラムの改変等を行っている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
高橋 典成	社会福祉法人 潤沢会	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	企業等委員
中舘 勝寿	株式会社システムエイド	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	企業等委員
曾根 美砂	学校法人聖公会盛岡こひつじ学園 仁王幼稚園	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	企業等委員
山田 学	公益財団法人 盛岡市スポーツ協会	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	企業等委員
鳩岡 貴士	はまゆり在宅介護支援センター	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: URL:http://www.mclnet.jp/

公表時期: 令和6年9月ごろ

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校関係者として関係施設等から参画いただいた委員を含む学校関係者評価委員会を設置して、実務に関する知見を活かして教育目標や教育環境等について評価を実施し、評価結果を教育活動その他の学校運営に活かしていく。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	募集要項「学校概要」
(2)各学科等の教育	学校ホームページ「学科紹介」、学校案内「学科紹介」
(3)教職員	学校案内 各学科紹介頁内の「教員紹介」
(4)キャリア教育・実践的職業教育	学校案内 各科「実習協力施設」、各科「実習STEP」
(5)様々な教育活動・教育環境	学校ホームページ「学科紹介」、学校案内「学科紹介」
(6)学生の生活支援	学校案内「Morii寮生活レポート」
(7)学生納付金・修学支援	募集要項および学校ホームページ「入学案内・学生支援」
(8)学校の財務	グループホームページ「MCL専門学校グループとは 財務情報」
(9)学校評価	学校ホームページ「自己点検・学校関係者評価」
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())
URL: URL: <http://www.morii.ac.jp> URL: <http://www.mclnet.jp/>
公表時期: 令和6年9月ごろ

授業科目等の概要

#REF!	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			医薬品概論	以下のことを習得する 医薬品の特性やリスク薬害の歴史を学びつつ、健康への関心や倫理観を養う	1前	15	○	○			○		○		
2	○			人体学	以下のことを習得する 人体の構造と働き、薬の働く仕組み、副作用の症状等に関する基礎知識と人体の区分や名称と関連する病名を理解する	1前後	45	○	○			○		○		
3	○			薬理学	一般医薬品に用いられる主な成分に関して効能及び特徴を学ぶ	1前後	60	○	○			○			○	
4	○			薬事関係法規	以下のことを習得する 薬事法関連法規を遵守して医薬品を販売又は授与に関連する法令・制度のしくみを理解する	1前後	30	○	○			○			○	
5	○			医薬品適正安全	以下のことを習得する 医薬品の適正使用、安全策を学ぶ。また、セルフメディケーションの良き相談相手たる登録販売者となるため主体的に学び続ける意義を養う	1後	30	○	○			○			○	
6	○			漢方・中医学	以下のことを習得する 生薬成分の特徴、漢方処方製剤についてどのような人に不向きなのかや主な副作用について理解する	1前後	30	○	○			○			○	
7	○			医療事務Ⅰ	以下のことを習得する 診療報酬請求事務の基本を理解し、診療料や投薬、注射、検査、手術、入院などの点数算定の原則とポイントを学び、医療現場で即戦力となれる能力を養う	1前後	##	○	○	○		○		○		
8	○			歯科助手Ⅰ	以下のことを習得する 歯科助手の心得や歯科受付の業務について学び、歯式の取り方やバキュームとスリーウェイシリンジ、消毒など歯科診療の準備と後始末などの基本的な技能を修得する	1前後	60	○	○	△	△	○			○	
9	○			歯科助手	以下のことを習得する 歯科助手の心得や歯科受付の業務について学び、歯式の取り方やバキュームとスリーウェイシリンジ、消毒など歯科診療の準備と後始末などの基本的な技能を修得する	2前後	60	○	○	△	△	○			○	
10	○			実践医療事務Ⅰ	以下のことを習得する 各診療科別の留意点とポイントチェックできる知識、点数表の読解、薬価、効能、検査等を判断しチェックする技術	1後	45	○	△	○		○		○		

33	○		教養Ⅱ	以下のことを習得する 実習にあたりしっかりとした目標を持ち、 社会人としての自覚を持たせる。身に付けた マナーの実践と、現時点での知識習得の 把握。終了後の振り返りをしっかりと行う	1 前後	60	○	○	△		○		○	
34	○		患者接遇	以下のことを習得する 実習にあたりしっかりとした目標を持ち、 社会人としての自覚を持たせる。身に付けた マナーの実践と、現時点での知識習得の 把握。終了後の振り返りをしっかりと行う	2 前後	30	○	○	△		○		○	
35	○		地域福祉	以下のことを習得する 福祉分野の理解を深め福祉やボランティア について自ら考え協力して取り組む力を養 う	1 集中	8	○	△	○			○	○	
36	○		地域福祉	以下のことを習得する 福祉分野の理解を深め福祉やボランティア について自ら考え協力して取り組む力を養 う	2 集中	7	○	△	○			○	○	
37	○		総合演習Ⅰ	以下のことを習得する 医療機関等で必要とされる実践力を身につ けるための技能、技術や教養を高める	1 集中	15	○	△	○		○		○	
38	○		総合演習	以下のことを習得する 医療機関等で必要とされる実践力を身につ けるための技能、技術や教養を高める	2 後	60	○	△	○		○		○	
39	○		実習事前事後 指導	事前指導として、実習目標の明確化、実習 日誌の書き方と実習先事前訪問をする。実 習終了後には実習報告会に向けて報告書 を作成をする	1 後・ 集中	30	○	○	△		○		○	
40	○		HR	連絡事項の伝達。知識、教養を深める話題 提供。クラス行事、学校行事、ボランティ ア等の企画立案・実施 等を行う	1 前後	60	○	○	△		○		○	
41	○		HR	連絡事項の伝達。知識、教養を深める話題 提供。クラス行事、学校行事、ボランティ ア等の企画立案・実施 等を行う	2 前後	45	○	○	△		○		○	
42			医療機関実習	以下のことを習得する 3週間から4週間の実習を病院、医院、歯科 医院、調剤薬局のなかから選択し、実習体 験をもとに、実践的な学習と、就職への準 備を進める。	1 集中	##	○				○		○	○
合計					42	科目	2075 単位 (単位時間)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件： 本校所定の教育課程を修了したと認めるとき。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 全体出席率 9 割以上、科目出席率 8 割以上ですべての科目において成績評価が「C」以上であること。	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。